

謹賀新年

投稿日: 2018年1月1日 作成者: takeuchi

あけましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりました。
今年もよろしくお祈りします。
皆様にとって、よい1年でありますように。
平成30年 元旦

武内 清



授業で電子黒板の実演

投稿日: 2017年12月18日 作成者: takeuchi

学校現場には、デジタル機器がかなり入り込んでいることであろう。
これから教師を目指す若い人には、デジタルに関する知識と技術は必須である。

生徒用のデジタル教科書(タブレット)に関しては、従来の紙媒体の教科書に比べていいのかどうかに関しては、様々な意見があるが、教師用の電子黒板の導入、使用に関しては、ほとんどの教師が賛成している(ブログ2016年10月29日参照)。

私の今週の授業(教育課程論、12月22日金曜日16時30分～、3301教室)では、この分野で一番進んでいる東京書籍のデジタル教科書の実演を、東京書籍の担当の人にお願ひすることができた。
敬愛大学の教育こども学科の学生が大いに学び、現場に出たときこの分野のリーダーになってほしい。

<追記> 東京書籍の担当の方からとても的確なデジタル教科書に関する説明と実演をしていただき、学生もよく理解したことが、当日のリアクション(一部転載)からわかる。 IMG\_20171223\_0002

歌の分析

投稿日: 2017年12月18日 作成者: takeuchi

これはこれまでよくやってきた授業内容であるが、先週非常勤先の授業で歌の分析を行った。
これはその時代を反映している例として、副田義也氏の2つの分析(「歌謡曲の社会心理-20年前は東京歌の詞は、その時代を反映している例として、副田義也氏の2つの分析(「歌謡曲の社会心理-20年前は東京志向、ここ3年は地方志向」「欠落と豊饒の世代-井上揚水「傘がない」に寄せて」「遊びの社会学」(昭和52年、日本工業社)、及び上智の学生の書いた「ラブソングに見られる女性の心理の変化について」(下記添付参照)の分析を紹介した。
分析枠組みとしては、時間軸(現在-未来)、空間軸(自分-社会)、ジェンダー等があると説明した。

その後、各自自分の好きな歌をyou tubeで流してもらい、その歌の内容を説明してもらった。学生があげた歌手(バンド)と題は、下記。

- 慎原敬之 もう恋なんてコレサワ タバコ
西野カナ SAKURA I love you
Takuro Sugawara 千の翼
the Oral Cigarette Shalala
メディアリテラシー Phamans after school
ソラニン Asian kung-fu generation

過去を振り返る歌や、自分は我が道を行く、といった内容の歌が多かったように思う。
若い人が、歌に自分の思いを重ね合わせているのを感じた。

私は「タバコ」が一番、印象に残った。 https://www.youtube.com/watch?v=7B\_PVsPveg0

状況に甘んじるのではなく、状況(苦境)をバネに飛翔する

投稿日: 2017年12月20日 作成者: takeuchi

日本人は状況に合わせる事が得意。「人間主義」(浜口恵俊)とも言われ自我を主張するよりは人との間を生きて、その場の空気を読みそれに合わせることをよくする。つまり状況に甘んずる生き方をしがちである。
置かれた状況はきちんと把握し、その場の空気も読みながら、なお且つそれに流されず、逆境をバネに挑戦を続け、自分で新しい状況を作り出し行動することができれば素晴らしい。
歳を取って行くにつれて体力も衰えてきて、状況に甘んじようという気になりがちである。同世代の藤原新也は、逆境に立ち向かう気迫と行動力を失っていない。見習いたいものである。

<このまま引き下がるかという船長の性格上それはできない。というよりトラブルに直面し、それをそのまま受け入れ何も手だてをしない、というの思考停止というものである。旅にはトラブルはつきものであり、これまで多くのトラブルに直面してきたが、そのつど乗り越えて来た。というよりわざわざ転じて福となす、の縁どおりそこで思考停止するのではなく、前向きに何かをやれば前よりさらによい結果が得られるということもしばしば経験して来ている関係上、今回そのまま引き下がるわけにはいかないものである。> (CW,12.27、一部転載)

年末の稲毛海岸散歩

投稿日: 2017年12月20日 作成者: takeuchi

毎年同じようなことをしているように思う。冬になると空気が澄んで、千葉の海(稲毛海岸)からも夕日と富士山がよく見える。それで犬(ソフィー)の散歩も兼ねて、夕方になると稲毛海岸に車を走らせる(15分)。
今日(12月30日)は家を出たのが遅く、海岸に着いた時は、夕日は沈み雲の蔭に隠れ、わずかに周辺の空が赤みを帯びているだけであった。それでも富士山の夕日に映えるシルエットはきれいだ。
年末年始は稲毛の海のそばの駐車場も無料になり(普段は30分以内無料、30分以上500円)、のんびりと海岸を散策できる。
歳を取り、家の周りしか散歩しない犬(ソフィー)も、海岸に来ると喜び走り回る。

いつもの年と同じように稲毛海岸に犬の散歩に来ることができた。今年1年の無事を感謝する。

年賀状について

投稿日: 2017年12月31日 作成者: takeuchi

若い人は、メールやLINEで年賀状を送ることはあっても、はがきで年賀状を出す人はごく少数であろう。
高齢者も、「歳なので、年賀状の交換を遠慮させていただきます」と皆に知らせ、年賀状をやめる人も少なくない。
私も自分の歳を考え、年賀状を出したり貰ったりするのをやめる時なのかと迷うこともある。年賀状をやめて困ることはあまりないように思う。
ただ、私の歳では、年賀状は「まだ生きている」という証しであり、それを証明する為に出しているようなところがある。
1年に1回でも、過去に交友やつながりのあった人のことを思い浮かべ、相手の住所と名前を書き、何か一言年賀状に添え書きをし、過去を振り返るのも貴重な時間のような気がする。
でも、今は、インターネットの時代であるし、メールやLINEなどで、新年の挨拶を交わし、近況を伝え合うことができるのであれば、はがきの年賀状を出すのはやめてもいいように思う。

日本人論について

投稿日: 2018年1月2日 作成者: takeuchi

昔読んだ日本人論について思い出した。その一つが「うちとそと」論。もう一つが自我構造論。
日本人にとっては、①うちとそとの境界がとても大事である。②うちとそとの境界は流動的である、③そとの人でも中の人の紹介があればうちに容易に入れるというものである。
西洋人は、個人主義で、個人と個人以外との境界がはっきりして、状況に応じた「うちとそと」の区別はしない、個人も大事だが、誰に対しても公平平等に扱い、最良はしない(普通主義)。日本人はうちの人に対しては、特別の配慮をする。
夫婦の関係について、これを当てはめて考えると、日本人の場合、夫と妻でかなり意識が違うのではないかと

思った。
夫(男)の方がうちとそと意識が強く、妻(女)の方はそれが弱い。妻の方が個人主義という傾向があり、それが原因で、夫婦間でかなり心の行き違いがあるのではないかと。

日本人の夫は自分の妻を最もうちのひとと思ひ大事にするが、同時に自分と同じなので気を遣わず、そとの他者に気を遣う。それに対して、うちとそとの意識の薄い妻からすると、夫の自分への気遣いの少なさを、(夫の「うち」意識の強さは取らず)、自分への気遣いや愛情のなさとして解釈する。「よその人(他者)に気を遣い、自分のことを気遣ってくれない(守ってくれない)愛情のない夫」というように。(夫は妻を自分に一番近い人と思っているのに)
もう一つは、自我構造の違い。

個人主義で、がっちりした自我の構造(殻)をもっている西洋人(固い殻のついた生卵にたとえられる)。それに対して、個人主義が確立していかなくて、状況に応じて自我がへこんだりでっばったりする(ふにやふにやな)自我構造(殻をむいた半熟卵にたとえられる)の日本人。ただこれは日本の男性に多く、女性は少し違う。日本の女性は、本人は自立しているわけではないが、西洋の個人主義に憧れ、自我の確立した西洋人に魅かれる。(江藤淳が『成熟と喪失』の中で、小島信夫の『抱擁家族』の夫婦について述べていることは、これにあたる)

日本そして日本人もどんどん西洋化しており、日本人論のあてはまる部分が少なく、日本人論は売れてしまっているが、少しは当てはまるところは残っているような気がする。

住む家や部屋の広さについて

投稿日: 2018年1月7日 作成者: takeuchi

家族が皆新潟にスキーに行ってしまう、私は犬と家で留守番しながら、普段は狭く感じる家が、ひとり(と犬)では過ごせると感じている(冬の寒さもひとしお感じた)。
人が住むのに家の広さはどのくらいが適切なのであろうか。
もちろん、都会と地方では違うであろう。家族構成にもよるし、また時代によって変化していることであろう。戦後2DKの団地が出来、40平米くらいの部屋が、新しい核家族の標準の広さだったように思う。その後は3DKや3LDが標準で、広さも60平米くらいになっていた。今の分譲マンションの広さを広告でみると80-90平米くらいが標準になっているので、人は段々広い部屋に住むようになっていくと思う。
核家族ではなく、拡大家族(2世帯)で住むのなら、広い家が必要であろうし、単身者であれば、狭くていいであろう。

それと家や部屋にどのくらいの家具を置くかの考え方も部屋の広さによって変わってくるであろう。部屋の広さにより、タンスなどの上にモノが置かれるかどうかが変わってくるという生活学会の報告(部屋が狭いと、タンスなどの上にどんなモノも置かれ、部屋がますます狭く感じる。広い部屋だと上に何も置かれずスッキリする)を読んだことがある。

昔私の家族は、3LDKの部屋が狭く感じ、4LDKの1部屋多いところに引っ越し、金額でかなりの額の出費があった。よく考えると使わない大きなソファセットがあり、それを捨てれば引っ越しは必要なかったと、後で思った(30万円のソファセットを置くために1千万円出費する不合理さにその時気が付かなかった。)このように、不要な家具を捨てれば、狭い部屋でも十分快適に過ごせる。

漁師たちの大きな魚を自分の荒い目の網で獲ることで、雑魚など狙うべきではないというものだ。(ただ、大きな魚を獲る漁師と雑魚を獲る人に、優劣はない)
つまり、自分の専門外のことにむやみやと口を出したり、頭を突っ込むことはしない方がいいという忠告である。
専門という隠れ蓑を使いそこに胡坐をかき外からの監視を拒むというのは、もちろんよくなく、部外者や素人が外部審査に入ることも時に必要だが、専門家は自分の分野に専念して長年やってきたものに、素人が軽い気持ちで参入しても、やはりかなわないのではないかと。これは政治や芸術の分野でもいえるのではないかと。

雑魚は雑魚取りに

投稿日: 2018年1月7日 作成者: takeuchi

吉本陰明の文章に、雑魚について書いたものがあつたように思う(今手元に本はなく、確認できないが)。
その趣旨は、大きな目の網を持っている漁師が雑魚を狙っても雑魚が網の目の間から抜け出し獲れない。雑魚を獲ることができるのは、雑魚用の小さい目の網を持っている人に限るというものである。
漁師たちの大きな魚を自分の荒い目の網で獲ることで、雑魚など狙うべきではないというものだ。(ただ、大きな魚を獲る漁師と雑魚を獲る人に、優劣はない)
つまり、自分の専門外のことにむやみやと口を出したり、頭を突っ込むことはしない方がいいという忠告である。

専門という隠れ蓑を使いそこに胡坐をかき外からの監視を拒むというのは、もちろんよくなく、部外者や素人が外部審査に入ることも時に必要だが、専門家は自分の分野に専念して長年やってきたものに、素人が軽い気持ちで参入しても、やはりかなわないのではないかと。これは政治や芸術の分野でもいえるのではないかと。



次の解答番号 1 ~ 30 の間について、それぞれの答えを①~⑩のうちから一つ選択し、解答用シートに該当番号を丁寧に塗りつぶさない。

学習指導要領について、次の各問に答えなさい。

次の文は、中学校(小学校)学習指導要領(平成20年3月告示)総合的な学習の時間の目標である。文中の(a)~(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 1

横断的・総合的な学習や(a)的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や(a)活動に主体的、創造的、(b)に取り組む態度を育て、(c)を考えることができるようになる。

- ① a 探究 b 発展的 c 自己の生き方
② a 探究 b 協同的 c 自己の将来
③ a 体験 b 協同的 c 自己の社会参画
④ a 体験 b 発展的 c 自己の将来
⑤ a 探究 b 協同的 c 自己の生き方

2 中学校(小学校)学習指導要領(平成27年3月一部改正)第3章 特別の教科 道徳「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の記述として、適当でないものを選びなさい。解答番号は 2

- D 生徒(児童)が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫すること。
D 生徒(児童)が多様な感じ方や考え方に触れる中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育てることができるよう、自分の考えを基に討論したり(話し合ったり)書いたりするなどの言語活動を充実すること。
D 生徒(児童)の発達段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行動に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫すること。その際、それらの活動を通じて学んだ内容の意義などについて考えることができるようにすること。
D 生徒(児童)の学習状況や道徳性成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。その際、教道による評価を行うこと。
D 道徳科の授業を公開したり、授業の進捗や地域教材の開発や活用などに家庭や地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ること。

3 家庭責任について、次の各問に答えなさい。

3 次の学級担任・ホームルーム担任の指導についての文の中で、適当でないものを選びなさい。解答番号は 3

- ① 学級経営・ホームルーム経営では、多様な個性や様々な人間関係を見すえながら、望ましい集団・人間関係づくりを進めていく学級担任・ホームルーム担任の適切な指導が求められる。
② 学級・ホームルームでも児童生徒の発達の段階を踏まえて生徒指導の方針を明確に示し、児童生徒や保護者に対して「社会の一員」としての責任と義務の大切さを伝えていくことが必要である。
③ 児童生徒の相談の内容が、極めて深刻な場合でも、個人情報保護のため学級担任・ホームルーム担任は一人で解決する必要がある。
④ 学級経営・ホームルーム経営を進めるに当たっては、その前提として、清潔で潤いのある空間としての教室環境を整える工夫も重要である。
⑤ 一人一人の児童生徒の成長発達に円滑かつ確実に進むように、学級経営の基本方針の下に、学級・ホームルームを単位として展開される様々な教育活動の成果が上がるよう諸条件を整備し運営していくことが、学級経営・ホームルーム経営と言われるものである。

4 生徒指導リーフ「『解づくり』と『居場所づくり』Loaf.2」(国立教育政策研究所)には「解づくり」「居場所づくり」の考えが示されています。その考えとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 4

- ① 「解づくり」は児童生徒が主体となり、「居場所づくり」は教職員が主体となって進めていくことが大切である。
② 「解づくり」と「居場所づくり」の両方とも、児童生徒が主体となって進めていくことが大切である。
③ 「解づくり」と「居場所づくり」の両方とも、教職員が主体となって進めていくことが大切である。
④ 「解づくり」は教職員が主体となり、「居場所づくり」は児童生徒が主体となって進めていくことが必要である。
⑤ 教師主導のエクササイズやトレーニングの繰り返しが「解づくり」になる。

教員の資質能力について、次の各問に答えなさい。

5 次の文は、千葉県・千葉県教育委員会が平成27年2月に策定した「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」の3つのプロジェクトである。文中の(a)~(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 5

I 志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる ~ (a) プロジェクト~
II ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の実現を目指す ~ (b) プロジェクト~
III 教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる ~ (c) プロジェクト~

- ① a 夢・チャンス b 本気 c チームワーク
② a 夢・チャレンジ b 元気 c チームスピリット
③ a 夢・チャンス b 元気 c チームワーク
④ a 夢・チャレンジ b 本気 c チームワーク
⑤ a 夢・チャレンジ b 元気 c チームスピリット

6 次の文は、生徒指導要領(平成22年3月文部科学省)に示された教育相談でも活用できる手法の一つです。その手法の名称として、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 6

児童生徒の社会的スキルを段階的に育て、児童生徒同士が互いに支えあう関係を作るためのプログラムで、「ウォーミングアップ」「主活動」「振り返り」という流れを一単位として、段階的に積み重ねます。

- ① グループエンカウンター
② アンガーマネジメント
③ ソーシャルスキルトレーニング
④ アサーショントレーニング
⑤ ピア・サポート活動

特別支援教育について、次の各問に答えなさい。

7 次の文は、特別支援教育における教育課程の編成(文部科学省)について示したものである。文中の(a)~(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 7

- 特別支援教育では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に際する教育を行うとともに、障害に基づく様々な困難を克服・克服するために、「(a)」という特別の指導領域が設けられています。また、子どもの障害の状況等に合わせた弾力的な教育課程が編成できるようにしています。なお、知的障害者を教育する特別支援学校については、知的障害の特徴や学習上の特性などを踏まえた独自の教科及びその目標や内容が示されています。
○ 特別支援学校は、基本的に、小学校・中学校の学習指導要領に沿って教育が行われますが、子どもの状況に応じて、特別支援学校の学習指導要領を参考として特別の教育課程も編成できるようにしています。
○ 通級による指導は、障害の状態に応じた特別の指導を特別の指導の場で行うことから、(c)の教育課程に加え、又はその一部に替えた特別の教育課程を編成することができるようになっています。

- ① a 自発活動 b 能力 c 通常の学級
② a 自立活動 b 実態 c 普通学級
③ a 自立活動 b 能力 c 普通学級
④ a 自立活動 b 実態 c 通常の学級
⑤ a 自発活動 b 能力 c 普通学級

8 次の文章中の(a)~(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 8

平成18年に関連において、(a)条約が採択され、日本は平成26年に締結した。第24条においては、教育についての障害者の権利を認め、この権利を差別なしに、かつ、機会均等と基礎として実現するため、(b)教育制度等を確保することとし、その権利の実現に当たり確保するもの一つとして、「個人に必要とされる(c)が提供されること」を位置付けている。

- ① a 障害者の権利に関する b 障害者を包摂する c 合理的配慮
② a 障害者の権利に関する b 障害者の就学を奨励する c 合理的配慮
③ a 障害者差別解消に関する b 障害者を包摂する c 合理的配慮
④ a 障害者差別解消に関する b 障害者の就学を奨励する c 合理的配慮
⑤ a 障害者基本法 b 障害者と共生する c 合理的配慮

9 国や県の施策について、次の各問に答えなさい。

9 次の文章は、教育振興基本計画(平成25年6月閣議決定)の中に示された4つの基本的方向性についてである。文中の(a)~(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 9

社会を生き抜く力の養成
○ 社会が激しく変化の中で自立と協働を図るための能動的・主体的な力である第1「社会を生き抜く力」を誰もが身に付けられるようにする。
未来への飛躍を実現する人材の養成
○ あわせて特に、変化や新たな価値を主導・創造し(a)を実現する人材、グローバル社会において各分野を牽引できるような人材、すなわち第2「未来への飛躍を実現する人材」を養成する。
学びのセーフティネットの構築
○ 一方、厳しい経済情勢において社会的格差等の問題が指摘される現在、上記2点を達成するための基礎的な条件として、安全・安心で充実した教育機会にアクセスできるようにすること、すなわち(b)・自立に向けた第3「学びのセーフティネット」を構築する。
解づくりと活力ある(c)の形成
○ 以上の取組をより実効的に進めるためには、個人への取組に委ねるのではなく、社会全体の協働関係において推進していくこと、いわゆる社会関係資本を充実することが重要である。このため、社会のつながりの希薄化などが指摘される中において、学校教育内外の多様な環境から学び、相互に支え合い、そして様々な課題の解決や新たな価値の創出を促す第4「解づくりと活力ある(c)」の形成を図る。

- ① a イノベーション b 社会参加 c アイデンティティ
② a イノベーション b 社会参画 c コミュニティ
③ a リノベーション b 社会参加 c コミュニティ
④ a リノベーション b 社会参画 c アイデンティティ
⑤ a イノベーション b 社会参画 c アイデンティティ

10 平成27年10月に千葉県知事は、「千葉県の教育の振興に関する大綱」を定めた。次の文は、その大綱の「千葉県教育の基本方針~千葉の子どもの未来のために~」の一部を示したものである。(a)~(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適切なものを選びなさい。解答番号は 10

- 家族への愛情と感謝の心、他人を思いやる心、(a)を尊重する心など、豊かな人間性や道徳心を育みます。
○ 社会の変化に対応できる確かな学力と、将来への夢や希望を持って歩んでいく姿勢を育みます。
○ たくましく生きるための健康・体力と、(b)を乗り越えて生きていくための力を養います。
○ 郷土と我が国を愛し、日本人としての誇りを持つ心ととも、広く世界に目を向け、グローバル化に対応できる力を養います。
○ 子どもたちへの(c)にあふれた愛の育を促進します。
○ 学校、家庭、地域の連携を深め、地域社会全体で子どもを育成する体制づくりを推進します。

- ① a 個性 b 様々な困難 c 愛情と思いやり
② a すべてのいのち b 困難や逆境 c 愛情と熱意
③ a 個性 b 様々な困難 c 愛情と思いやり
④ a すべてのいのち b 様々な困難 c 愛情と熱意
⑤ a すべてのいのち b 困難や逆境 c 愛情と思いやり

Score table with columns for 問題番号 (Question Number), 正答数 (Correct Answer Count), and 配点 (Points). Rows 1-30 show counts for each question.

1 前回のリアクションの感想  
 デジタル教科書は教科書ではなく、授業を分かりやすくするための教材として使うことで  
 子どもの理解を深めることにもつながるのだと思いました。  
 私が小学生の頃には、電子黒板は導入されていなかった。たの今はみんなに便利なものがあるのだと驚きました。

日本人は「他人様」状況に甘んじるのではなく、状況をバネに奮起するという記事を読んだ  
 確かに日本人は空気を讀んで周りに合わせる傾向があると感じました。  
 他国では周りの人と違う、つまり自分を主張することは素晴らしいという考え  
 を持っているイメージを持っています。それに対して、日本人は周りの人と違うのは  
 恥かしいという意識があるのだなと思いました。



3 現代の若者は何に関心を持っているのか(武内「若者論を読む」を参考に)  
 ・アニメ 大人は当たり前のようにやっていること  
 ・ゲーム スマートフォン  
 ・異性愛関係

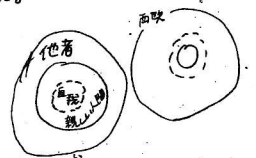
4 受験は学校教育にどのような光と影をもたらすのか(武内「加塾する進学塾」を参  
 考に)  
 大学選択 → 偏差値や有名校より将来の職業や仕事を考えた上で  
 企業の求める人材 → 学歴だけでなく、即戦力や人間力、コミュニケーション能力といわれる  
 受験 → ゲームであり、他人との競争ではなく個人との戦い

5 教員採用試験の問題(29年度教職教養問題 10問/30問)を解いてみると

正解は 5 問 正解率 50 %

1 前回のリアクションの感想  
 デジタル教科書について色々の意見があると感じた。  
 紙とデジタルの併用が1番多かった。

2 武内 HP への感想  
 ・筆記の教職試験や各教科の形式験が出来ること。  
 ・幅広い関係や行動が身に付くこと。  
 勉強になった。この2つが完璧になるように頑張りたいと思った。



3 現代の若者は何に関心を持っているのか(武内「若者論を読む」を参考に)  
 「情報、スマホ」  
 インターネット、SNSが発展している現代、若者は情報系に多く  
 関心をもっている。新色視覚的や画像投稿サイトなど。

4 受験は学校教育にどのような光と影をもたらすのか(武内「加塾する進学塾」を参  
 考に)  
 光 → 受験に成功し銘柄大学を卒業し企業に就職。そして、終身雇用は確定  
 して出社し他社も賃金も上がる可能性がある。  
 影 → 受験失敗。このことにより傷ができて、周りの人にあたってしまっ  
 たりした。行った学校の不登校にも可能性がある。

5 教員採用試験の問題(29年度教職教養問題 10問/30問)を解いてみると

正解は 3 問 正解率 30 %

1 前回のリアクションの感想  
 デジタルと紙の教科書の各長短を正しく理解し、  
 その違いから現状に照らし合わせてそのメリットを提示していた。  
 人それぞれ、違った意見が述べられて面白かった。

2 武内 HP への感想  
 様々な教職の存在、自分の将来の進路を体験記を通じて、  
 文章の面白さや引き込まれる内容が楽しかった。  
 また、自身の足下で活動する場所を知りたい、過去の体験談から、多  
 岐な進路について学ぶことができた。  
 文章も見やすくて、今後参考にしたいと思います。

3 現代の若者は何に関心を持っているのか(武内「若者論を読む」を参考に)  
 流行もの。  
 情報に左右される。

4 受験は学校教育にどのような光と影をもたらすのか(武内「加塾する進学塾」を参  
 考に)  
 学歴価値に重きを置いている企業があるから、より良い大学に行くことが、  
 将来の安泰につながると思われている。  
 いわゆる学歴コンプレックスが、先に結果にもつながるものではない。

5 教員採用試験の問題(29年度教職教養問題 10問/30問)を解いてみると

正解は 5 問 正解率 50 %  
 地理は自分の知識が足りなかった。  
 上は正解だった。

1 前回のリアクションの感想  
 デジタル教科書の使用について、紙とデジタルの併用が良いと答えた人が  
 多かったことが印象に残りました。やはり、紙の良さもあるなと思いました。

2 武内 HP への感想  
 先生 HP の内容を見て、日々色々のことに関心をもって生活すること  
 たくさんの気づきがあるのだなと思いました。そして、その気づきについて  
 深考えする時間をもつことも大切だと思いました。

3 現代の若者は何に関心を持っているのか(武内「若者論を読む」を参考に)  
 ・青年期に離脱の季節と規定する。  
 ・若者(この「離脱」の方向は「遊」)に傾斜している。  
 ・実利と純粋さが(社会)この社会のあり方に不満を訴えている。

4 受験は学校教育にどのような光と影をもたらすのか(武内「加塾する進学塾」を参  
 考に)  
 光 → 大学に入ると人はおもしろいと思った。  
 ・部活動が思うようにできる。  
 ・テストが思った以上に簡単だった。  
 ・進学校と普通校。  
 ・学業の成績と自信や自尊感情を左右する。  
 ・親の社会階級によって子どもに与える影響が異なる。  
 影 → 受験失敗。このことにより傷ができて、周りの人にあたってしまっ  
 たりした。行った学校の不登校にも可能性がある。

5 教員採用試験の問題(29年度教職教養問題 10問/30問)を解いてみると

正解は 4 問 正解率 40 %